

折に触れ 四字熟語

NO. 31 『事情聴取』 じじょう ちょうしゅ

< 意味 > ある事件・出来事について、人から事情や状況を聞き取ること。捜査機関においては、任意捜査の一つである。

一言：見出しの「事情聴取」をご覧になっておやと思われたかと思います。勿論、このコーナーでは言うところの古典的な、四字熟語辞典に載っているようなものを対象に考えていますが、今回は、石原慎太郎元都知事がいよいよ議会で申し開きをするというので、この熟語を足がかりに広義の意味での四字熟語に触れてみたいと思います。なお石原元知事のごことは、現段階での正しい整理は「参考人招致」です。

ウィキペディアによると、四字熟語とは、日本において漢字4文字で作られた熟語を指す用語。学術的な用語ではなく、4字の熟語や成語を指す概念として自然発生的に現れた比較的新しい用語である。最広義には漢字4字で構成される言葉すべてを指すものと解釈できるが、最近では、より狭い範囲をもって四字熟語とすることも一般的であり、しかもその定義は人によって一定でない、とあります。

私たちが日常的に会話や記述に使用する四字熟語ですが、構造的にみると、

- ① 四字が並列するもの、二字熟語が並列するもの「春夏秋冬」「喜怒哀楽」など。
- ② 上の二字と下の二字が同（類）義、対義のもの「悪口雑言」「朝令暮改」など。
- ③ 上の二字と下の二字が主語－述語となるもの「天地長久」「盛者必衰」など。

が挙げられます。

ところで皆さんは「創作四字熟語」というものをご存じですか。有名な四字熟語を引用することで、既存の思想を簡潔に表現することができる一方で、時代や世相を言い当てる新造の四字熟語が1980年以降次々と生まれています。住友生命が主管して作品を募っていますが、2016年と2015年の優秀作品の中から、私の独断で2つずつご披露しますので味わってみて下さい。（ ）の中が引用した熟語で、念のため・ヒントを最後尾に順に入れておきました。「四字熟語」の世界も広いですね。

2016年－「神鯉万勝・しんりばんしょう（森羅万象）」

「新都多難・しんとたなん（前途多難）」

2015年－「責任十代」せきにんじゅうだい（責任重大）」

「波乱番号・はらんばんごう（波瀾万丈）」

・カーブ優勝・小池新都知事誕生・選挙権年齢18才以上に・マイナンバー制度導入

参照文献：ウィキペディア